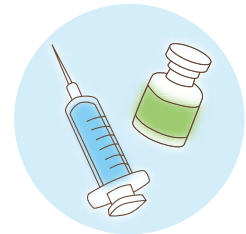


小学校入学前に接種しておきたいワクチン

保育園・幼稚園に比べ、小学校に入ると広く社会に接することとなります。このため、感染症にさらされる機会も多くなり、リスクも高まります。

このようなことに配慮し、予防接種のスケジュールを見直しておく必要があります。

今までの定期接種、打ち忘れはありませんか？



1 麻しん風しん (MR) ワクチン

定期接種

● 最も接種してほしいワクチン ●

1歳で1回、小学校入学前の1年間（4月1日～翌年3月31日）で1回の計2回接種します。小学校に入学後でも、区（自治体）によってはお金を出してくれます（公費負担任意接種）。特に麻しん（はしか）は、かかると重症化することがあり命にかかわることもあります。接種し忘れている場合はぜひお住まいの区に問い合わせをしてみてください。もちろん自費になったとしても接種をしていただきたいワクチンです。

2 水痘（みずぼうそう）ワクチン

3歳以降は任意接種

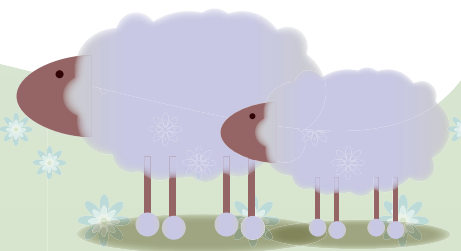
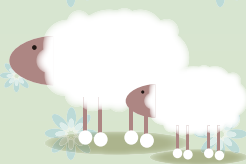
1歳代で計2回接種します。3歳になるまでは定期接種として認められます。3歳を超えても自費で接種することができます。自費の接種は年齢制限がありません。1回では免疫が十分につかないことがあるので、2回接種をしましょう。

3 日本脳炎ワクチン

定期接種

3歳で2回、4歳で1回、9歳で1回の計4回接種が標準的です。7歳半から9歳までは公費での接種ができないので、接種を忘れている場合は早めに接種を開始しましょう。1回目～3回目までは最短で約半年かかります。

裏面に続く・・・>



小学校入学前に接種しておきたいワクチン

4 おたふくかぜワクチン

任意接種

区により補助制度あり

通常1歳代で1回、3～6歳で1回、計2回接種です。

おたふくかぜにかかると1000人に1人が難聴を起こすとされており、一度難聴になると戻りません。接種の年齢制限はありませんので、ぜひ接種を考えてみてください。

5 三種混合 (D:ジフテリア、P:百日咳、T:破傷風) ワクチン

任意接種

● 最近トピックになっているワクチン ●

通常、0歳と1歳で四種混合ワクチン (DPT-IPV) を計4回接種していますが、時がたつと徐々に免疫が落ちていきます。そのため、5歳頃から百日咳にかかるお子さんが増えており、問題になっています。このため、日本小児科学会の予防接種スケジュールでは2018年8月の改訂で、5～6歳 (小学校入学前) の三種混合ワクチン (DPT) 【任意接種】が推奨となりました。MR2期、おたふくかぜワクチンと一緒に三種混合ワクチンを接種しましょう。

6 不活化ポリオワクチン

任意接種

四種混合ワクチンに含まれていて、通常、0歳と1歳で計4回接種していますが、時がたつと徐々に免疫が落ちていきます。世界各国でいろいろな接種スケジュールがありますが、世界標準としては5歳以上で1回接種することが必要と言われていて、世界的にみると日本のスケジュールでは不十分です。このため、5歳以上で5回目の接種がすすめられています。

自由が丘メディカルプラザ 小児科
<http://www.jiyugaokamp.com/s>
TEL : 03-5731-3565

2020年7月9日改訂
日本小児科学会認定専門医
院長 高嶋 能文

